



SNS状況（出展者の発信）

実施報告書

11

藤城建設



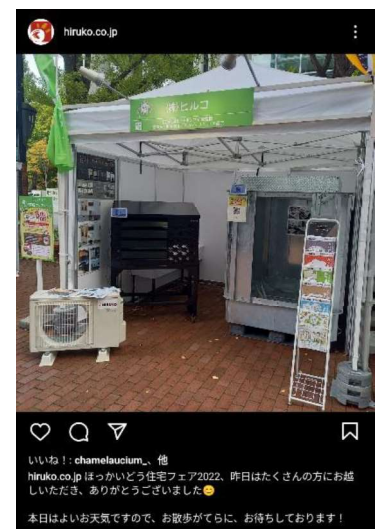
Insta : 27回
FB : 8回

竹中大工道具館



Insta : 3回
Twit : 3回
FB : 4回

ヒルコ



Insta : 3回
Twit : 6回

リノベーション協議会



Insta : 2回
FB : 3回

大平洋建業



FB : 4回

JERCO



Insta : 1回
FB : 1回

※各発信回数は事務局による検索調査、関係者投稿含む



SNS状況（出展者の発信）

実施報告書

12

コスモ建設



Insta : 1回

スウェーデンハウス



FB : 1回

北海道ゼロカーボン推進局



Twit : 1回

北海学園大学



FB : 2回

北海道科学大学



Twit : 1回



SNS状況（メディア・主催者発信）

実施報告書

13

■ メディア

emina



Insta : 4回
 Twit : 15回
 FB: 2回

リプラン



FB : 6回

北海道建設新聞社



Twit : 1回

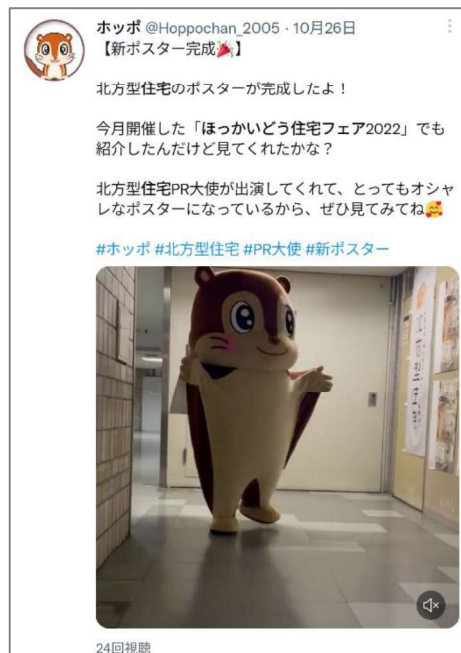
北海道住宅産業新聞



Twit : 1回

※各発信回数は事務局による検索調査、関係者投稿含む

■ 主催者



Insta : 14回
 Twit : 16回

◇ R4.10.15
HBCニュース（住宅フェア・中央イベント）



2022年10月15日放送

高円宮妃久子さまはきょう、住宅と環境をテーマにした札幌のイベントを視察されました。

高円宮妃久子さまが出席されたのは、札幌で開かれている「住み心地の良い」家をテーマにしたイベントです。

道内で初めて開催されたこのイベントでは、住宅に関する防災や環境についてのパネルなどが展示されています。

イベントには鈴木知事も同席し、高円宮妃久子さまは北海道の厳しい気候にふさわしい性能を備えた「北方型住宅」のコーナーを見て回り、実際に建てられている住宅の写真や模型、使われている材料などの説明に耳を傾けていました。

高円宮妃久子さまは、午後は胆振の白老町にある民族共生象徴空間「ウポポイ」を視察される予定です。

◇ R4.10.16
読売新聞 (中央イベント)

4.10.16 読 売

住生活フェス 久子さま視察

札幌 札幌市中央区

高円宮妃久子さまは15日、札幌市中央区の札幌駅前通地下歩行空間(チカピ)で始まった「住生活月間中央イベント」住まいフェス「住まいフェス」を視察された。同日イベントは国土交通省が定める「住生活月間」の10月に開かれ、道内での開催は初めて。住み心地の良い家をテーマに断熱や省エネ、照明やエアコンなど省エネをインテリネットでつなぐIoT化などが紹介されている。会場では「ほっかいどう住宅フェア2022」も同時開催されている。

屋外フェスを観て回られる高円宮妃久子さま(左)(札幌市中央区)

◇ R4.10.17
苫小牧民報 (中央イベント)

アイヌ文化や生活に触れる

高円宮妃久子さま ウポポイ視察

ウポポイを訪れた高円宮妃久子さま(中央)

アイヌ文化や生活に触れる

高円宮妃久子さまは15日、札幌市中央区のウポポイを訪れ、アイヌ文化や生活に触れた。ウポポイでは、アイヌの伝統的な生活様式や文化を紹介する展示が行われており、高円宮妃久子さまも興味を持って見学された。

紅葉を楽しむ

ポロト自然休養林で ウオーキング

ポロト自然休養林でウオーキングを楽しむ。紅葉の季節、多くの市民が参加し、自然を満喫している。

◇ R4.10.19
北海道新聞 夕刊 (住宅フェア、中央イベント)

寒冷地住宅の進化紹介

札幌市中央区の進捗率が高い戸建住宅の北東部「アカラ」が、高層ビル化された。

札幌で2イベント開催

10月の住生活月間を前に、札幌市中央区で「住まいフェス」や「住まいフェス」が開催された。

優しいタッチ 会田さん個展

札幌市の画家会田千恵さんの個展が、札幌市中央区で開催された。

◇ R4.10.18
北海道建設新聞（住宅フェア）

省エネ、地域材活用PR ほっかいどう住宅フェア



ほっかいどう住宅フェア実行委員会は15、16日、地下歩行空間などで「ほっかいどう住宅フェア2022」を開いた。住宅関連の企業や団体のブースには多くの来場者が訪れ、住宅の特長やサービス内容の説明を受けた。イベントはゼロカーボン北海道やSDGsの実現に向け、地球環境に優しい社会を目指す。北方型住宅や省エネ住宅、地域材活用などの北海道らしい家づくりの取り組みについてPRする。

会場は札幌市北3条広場と札幌駅前通地下歩行空間の2カ所。住まいは「ミライ」をテーマに、住宅施策や住まいづくりに関して道民に周知し、住宅産業に親しんでもらう。会場には住宅関連の約50の企業や団体がブースを設け、住宅の特長やサービス内容などを説明した。

ステージイベントでは、15日にイベントナビゲーターを務めるタレントの小俣彩織さん、オクラホマの藤尾仁志さんと河野真也さん、キクザフ（本社・恵庭）の菊沢里志社長、照井康穂建築設計事務所（同・札幌）の照井康穂社長が積雪寒冷地における理想の住まいづくりについてトークセッションした。

また、16日にはタレント、映画監督などとして多彩に活躍し、出身の赤平市に自宅を建築した鈴井貴之氏が登壇。厳しい自然環境の中で快適に暮らすための家づくりの工夫やこだわりをトークで展開した。

◇ R4.10.18
北海道通信（住宅フェア）

札幌でほっかいどう住宅フェア 家づくりの最新線紹介

「ほっかいどう住宅フェア」が盛況に燃れた。15日から16日は「ミライ」がテーマの最新の家づくりに関する取組について広場と札幌駅前通地下歩行空間で周知する。住宅で開かれた。道内のハウスメーカーや住宅産業に親しんでもらう。イベントナビゲーターを務めるタレントの小俣彩織さん、オクラホマの藤尾仁志さんと河野真也さん、キクザフ（本社・恵庭）の菊沢里志社長、照井康穂建築設計事務所（同・札幌）の照井康穂社長が積雪寒冷地における理想の住まいづくりについてトークセッションした。

会場は札幌市北3条広場と札幌駅前通地下歩行空間の2カ所。住まいは「ミライ」をテーマに、住宅施策や住まいづくりの工夫やこだわりをトークで展開した。

また、16日にはタレント、映画監督などとして多彩に活躍し、出身の赤平市に自宅を建築した鈴井貴之氏が登壇。厳しい自然環境の中で快適に暮らすための家づくりの工夫やこだわりをトークで展開した。

47の企業・団体が参集

イベントナビゲーターによる開会宣言が行われた

このほか、積雪寒冷地の北海道に広がる理想の住まいづくりをテーマとしたトークセッション、ワークショップ、セミナーなどを実施。15日（日）は、約1,000人が参加した。約1,000人が参加した。約1,000人が参加した。

